

# 発達凸凹 がわかれば 企業が変わる! PART II

～働きやすい職場環境づくりセミナー～

第2回目となる今回のセミナーでは、特に発達凸凹のある若者に焦点をあて、人材として育成し、能力を発揮してもらうためにはどうしたらよいかを、すでに社会人として活躍している当事者たちと一緒に考えていきます。



司会：木谷 美帆  
(フリーアナウンサー)



「発達凸凹と企業をつなぐコンサルティング事業」  
第2回 企業向けセミナー  
3月17日(日)  
ハービス ENT 9F 会議室

## 発達障がいとは？発達凸凹とは？

広野 ゆい

(NPO法人 発達障害をもつ大人の会 代表)

企業ニーズ調査の結果をもとに、大人の発達障がい(凸凹)の現状を解説します。

## 発達凸凹の企業での活かし方

東田 晋三

(龍谷大学社会学部

ヒューマンコミュニケーション学科 教授)



## 当事者たちの声～事例紹介～

当事者たちの様々な声をご紹介します。

## パネルディスカッション

当事者たちが提案する、発達凸凹の活かし方とは？  
ナマの声をお届けします。

進行：大谷 邦郎

日時 3月17日(日)  
13:30～16:30(受付開始13:00～)

会場 大阪・梅田  
ハービス ENT 9階 会議室

対象 企業等の人事・労務担当者・管理職の方など、  
テーマに興味のある社会人の方

定員 100名 参加費 無料



※お申込みについては裏面をご覧ください

あなたの職場に…

同じミスを繰り返す。時間に遅れる。やるべきことを先延ばしにする。期限が守れない。人の話が聞けない。場の空気が読めない。物事の優先順位がわからない。後先考えずに行動する。相手の気持ちを考えずに一方的に話す。キレやすい。落ち着きがない。片づけられない。

という人はいませんか？

その原因は“大人の発達障がい（凸凹）”にあるのかもしれませんが。

「発達障がい」と診断される大人が年々増加し、マスメディアでもその言葉をよく耳にするようになりました。しかし言葉ばかりが広まり、「発達障がい」の実際について理解されていないのが現状です。

発達障がい（凸凹）をきちんと理解し配慮すれば、仕事上のトラブルは軽減され、能力が発揮されるなど大きなメリットもあります。

## 発達凸凹とは

認知（知覚・理解・記憶・推論・問題解決などの知的活動）の高い部分と低い部分の差が大きい人のこと。発達凸凹に適応障がい加わることによって、狭義の発達障がいとなります。大人の発達障がいでは、二次的に発症する精神疾患の問題が大きいです。特性に合う環境があれば上手く適応し、能力を発揮することができます。

（参考：「発達障害のいま」杉山登志郎 他）

### NPO 法人 発達障害をもつ大人の会 (DDAC) について

当会は発達障がいをもつ大人の当事者が、二次障がいを克服し、より良い社会生活を行うとともに、その特性を生かし地域社会にも貢献できるよう、当事者支援事業及び、一般社会に向けた啓発活動を行っています。

H P <http://www.adhd-west.net/>  
MAIL [mail@adhd-west.net](mailto:mail@adhd-west.net)

## パネルディスカッション 出演者紹介



石橋尋志さん  
34歳 ADHD

今の会社で実に5社目。  
ようやく落ち着ける職場を見つけた。  
その職場の社長は言った。  
「できひんこともあるけど、出来ることもぎょうさんあるし。  
そういう子も一人はおってもええやろ」と



「しーた」さん（女性・ペンネーム）  
アスペルガー症候群

小さい頃から“伝言ゲーム”が出来なかった。  
電話でメモを取るのが今も苦手だ。  
“冗談”と言うものを理解するために漫才や落語を懸命に学んだ。  
発達凸凹が働きやすい職場を実現できるかどうかは上司にかかっていると訴える。

## お申込方法

お申し込みは、下記の記入欄に必要事項を記入し FAX を送っていただくか、ホームページ内申込みフォームからお願いいたします。

お名前	ふりがな	( 役職 )
企業名・団体名		
TEL		FAX
住所	〒	-
E-mail		

### 発達凸凹と企業をつなぐ コンサルティング事業 事務局

〒553-0006  
大阪市福島区吉野4-29-20  
大阪 NPO ブラザ203号  
※3月末にて移転予定

FAX 06-6462-2056

URL <http://consul.piasapo.com/event/20130317sem2.html>

※ご提供いただいた個人情報は適正な管理を行い、事業の目的以外には使用いたしません。